

【山岳部】

登山の実施結果について(令和8年5月28日～同年6月30日実施分)

【山岳部】

番号	学校名	行事名	実施山域	実施日	日数	参加 生徒数	引率者	ルート及び通過時間	登山アドバイザー帯同			天候(上段) 積雪量(下段)	特に配慮した点の特記事項	ヒヤリハット事例			
									人数	資格	要件			具体的内容	背景要因	改善策	委員からの助言
1	地域における 高校生の登山活動実践 研究事業に係る登山計画	社山登山	社山	令和8年 6月13日 (土)	1日 (日帰り)	6名	佐久間利美 柳澤嘉子	JR日光駅7:50・・・中禅寺湖 バスターミナル8:38～ 9:00・・・立木観音9:20・・・狸 窪10:00・・・阿世湯10:30・・・ 阿世湯峠10:50・・・社山11:50 ～12:10・・・阿世湯峠 13:10・・・阿世湯13:30・・・狸 窪14:00・・・中禅寺湖バス ターミナル14:40～15:00・・・ JR日光駅16:10	2名	日本スポーツ 協会公認 山岳コーチ1、2	第1号	晴れ なし	1週間前に梅雨入りし、該当山域も何回か 雨が降ったが、少し湿り気がある程度で、 歩行に問題はなかった。5月に部活動で 行った春山登山(赤菴山)において尻もち をついた生徒がいた反省から、必ず登山 靴を履いてくるよう指示、忘れた場合入山 させないことを再度徹底した。 観天望気、雲の状態から発雷が心配され たため、山頂に滞在する時間を短くし、予 定を20分早めて12:10に下山を開始した。 14:40に中禅寺湖バスターミナルに到着 し、15:00発のバスに乗り日光駅へ向かっ た。解散直後に強い雨が降り出した。下山 開始時刻を20分早めたことが功を奏した。 読図力を向上させるため、著名な箇所 (阿世湯峠手前の地形、峠から稜線の状 況、1,650m)地形などの確認を行った。ま た、観天望気で実際に空を観ることで雲の 流れや、雲の色などで天候の変化を感じ 学ぶことができた。 自然観察を希望している生徒もいるので、 その日に見られた花や虫、鳥の声などの 話しをした。	跳ねるように下山をする者がいた。	・雨雲や雷を避けるために下山開始時刻を 20分早めた。実際に雷が接近していること は確認できなかったが、無意識のうちに足 取りが速まってしまったと考えられる。 ・行動時間が短く、疲労度が少ない。 ・日帰り山行のため、負荷荷重が少ない。	・着地時、滑って転倒、捻挫などのリスクが あり、登山道では極力避けるように指導す る。 ・事前に、下りは転倒しやすいこと、怪我を した場合のその後の行動に与える影響など を十分に理解させる。	特になし
2	栃木女子高 等学校	3年生引退登 山	日光市湯元	令和8年 6月14日 (日)	1日 (日帰り)	10名	3名 池間明德 滝沢宏之 増山明美	学校(7:00)・・・夢沼駐車場 (9:00)・・・刈込湖(10:10)・・・ 溜沼(11:20 昼食)・・・山王峠 (12:10)・・・光徳牧場(13:05)・・・ 学校(16:05)	1名	(公財) 日本ス ポーツ協会公認 山岳コーチ1	第1号	晴れのち 曇り なし	・野生動物(熊)との遭遇回避→熊鈴 の音を絶やさない 足跡や糞などの痕 跡に注意する。 ・天候急変時の対応→観天望気を心 がけ、ガイドや顧問間で状況判断を共 有する。	・具体的な野生動物との遭遇はなかった が、獣臭や足跡、糞や爪研ぎの痕など熊の 存在を感じさせる事象が複数見られた。	・熊鈴の常備 ・熊に遭遇した場合の対応の共有(遭遇時、 熊撃退スプレー使用時、負傷時)	特になし	
3	宇都宮 高等学校	令和8年度新 入部員歓迎 登山	高山 (日光中宮祠)	令和8年 6月13日 (土)	1日 (日帰り)	17名	4名 湯澤真一 鶴見勝司 渡部裕次郎 齋藤明朋	宇高(7:00)・・・竜頭滝上 (8:40)・・・高山山頂(9:53～ 10:10)・・・無名峠・熊窪分岐 (10:46)・・・熊窪(11:16～ 30)・・・栃窪(11:47)・・・赤岩 (11:54)・・・竜頭滝(12:31～ 55)・・・宇高(14:35)	1名	日本スポーツ 協会公認 山岳コーチ1	第1号	晴れのち 曇り なし	・大気が不安定との予報だったので、雷雨 に備え雨具を取り出しやすい位置にバツ キングしておくことを指導した。 ・歩き始めると汗ばむやや高めの気温だっ たので、着衣の調整や水分・塩分の補給 には留意させた。 ・新入部員も多数参加していることから、 登山前および休憩中に、ほどこにくい靴 紐の結び方や正しく疲れにくいザックの背 負い方について指導した。 ・登り始めはベース配分に注意すること、 登山の基本の歩行はスモールステップで 大股で歩かないこと、雨の影響で滑りやす い木の根や岩には注意することなどにつ いて指導した。 ・現在位置の把握、尾根(稜線)・谷(沢 筋)・鞍部(コル)など現地の地形の見え方 や現れ方の確認など、事前の読図指導が 実地で活きるような確認の時間も設けた。 ・高山からの下りは急なため、万が一の滑 落に備えて全員がヘルメットを着用した。	特になし	特になし	特になし	特になし
4	大田原 高等学校	卒部登山(茶 臼岳・南月 山)〇	茶臼岳、南月 山(那須町)〇	令和8年 6月14日 (日)	1日 (日帰り)	9名	2名 高梨和幸 小磯怜士〇	集合6:00・峠の茶屋駐車場 6:05・・・峰の茶屋跡6:55・・・茶 臼岳7:40・・・ロープウェイ山頂 駅8:15・・・牛ヶ首8:55・・・日 の出平9:10・・・南月山9:30・ 昼食・出発10:20・・・日の出 平10:30・・・牛ヶ首10:45・・・峰 の茶屋跡11:10・出発11:15 ・・・峠の茶屋駐車場11:50 着、ミーティング後解散12: 30	1名	日本スポーツ 協会公認 山岳コーチ1	第1号	おおむね 晴れ 0cm	当日の天気予報は晴れのち曇り。那須岳 の発雷確率は0%を示していたが、栃木県 南では午後あたりに5%程度の発雷予報が あったため、予定よりも早めの行動が望ま しいことをパーティ全体で共有した。朝6時 時点ですでに峠の茶屋駐車場は満車と なっていたが、パーティの人数がいつもよ りも少なく、統率の取れたパーティであっ たため、1時間以上早めの下山(12時前) となった。目的としていた茶臼岳の登頂と ともに、南月山から見る雄大な茶臼岳の 姿をみることができた。解散後の12時半頃 から雲が多くなり、1時間早めの行動が功 を奏した。	特になし	特になし	特になし	特になし